2024/07/03

**SE グループ課題\_ユースケース記述**

＜内容：講義資料より＞

ユースケース: 対象とするユースケースの名前

• アクタ: ユースケースを起動するアクタの名前

• 目的: アクタまたはシステムの所有者にとっての目的

• 事前条件: ユースケースの実行前に、システムが満たしていなけれ

ばならない条件

• 事後条件: 事前条件が満たされた状況においてユースケースを実行

した後の、システムが満たしていなければならない条件

• 基本系列: アクタとシステムの、ステップ単位でのやり取り

• 代替系列: 基本系列中の特定のステップについて、特定の状況下に

おける代替的なやり取り

• 備考: 対象ユースケースに関係する補足事項の記述

• シナリオ: アクタとシステムの、具体的な関わりの様子の記述。ユー

スケースのテストケース（テスト条件）となる

ユースケース: ホテルを予約する

• アクタ: ユーザ

• 目的: ユーザがホテルの部屋を予約する

• 事前条件:

・ユーザがシステムにログインしている

・ホテルの部屋に空きがある

• 事後条件:

・ユーザが選択した条件の部屋と食事の予約が完了している。

・ユーザが予約確認メールを受け取る。

• 基本系列:

1.アクタはシステムに、ホテルの部屋と食事を予約する旨を示す。

2.システムはアクタに、宿泊希望日、人数、部屋種別、食事回数の条件入力を促す。

3.アクタはシステムに、宿泊希望日・人数・部屋種別・食事回数を入力する。

4.システムはアクタの条件に基づき、利用可能な部屋リストと料金を表示する。

5.ユーザは希望する部屋を選択する。

6.システムはユーザに予約情報（氏名や連絡先、支払い情報）の入力を促す。

7.ユーザはシステムに予約情報を入力する。

8.システムはユーザに予約情報を提示し、確認を求める。

9.ユーザは確認ボタンを押す。

10.システムは予約を確定し、予約確認メールをユーザに送信する。

• 代替系列:

1.（基本系列2）ユーザの入力情報が不足している場合、システムはユーザに「入力情報に不備があります」と表示し、再度の入力を促す。

2.（基本系列4）希望条件に合う部屋が見つからなかった場合、システムは「条件に合う部屋が見つかりませんでした」と表示し、ユーザに他の日程または部屋タイプで再入力を促す。

3.（基本系列8）ユーザが確認を拒否した場合、システムは予約をキャンセルし、ユーザに再入力を促す。

4.（基本系列7）支払い情報が無効だった場合、システムは「支払い情報が無効です」と表示し。ユーザに再入力を促す。

• 備考: （なし）

**シナリオ1: 正常な予約プロセス**

(1) 山田太郎さんがシステムにログインし、予約ページにアクセス。

(2) 山田さんが宿泊希望日を2024年8月1日、人数を2人、部屋種別を「中部屋」、食事回数を2回と入力。

(3) システムが利用可能な部屋リストと料金を表示。

システム表示例: 「中部屋（￥20,000）」、「中部屋（￥25,000）」

(4) 山田さんが希望する「中部屋（￥20,000）」を選択。

(5) システムが山田さんに予約情報（氏名や連絡先、支払い情報、メールアドレス）の入力を促す。

(6) 山田さんが予約情報（氏名: 山田太郎、連絡先: 080-1234-5678、支払い情報: クレジットカード、メールアドレス: yamada@example.com）を入力。

(7) システムが予約情報を提示し、確認を求める。

表示例: 「予約情報：日程：2024年8月1日、人数：2人、部屋種別：中部屋、食事：2回、料金：\40,000、氏名：山田太郎、連絡先：080-1234-5678、メールアドレス：yamada@example.com、支払い方法：カード、カード番号：1234-5678-9876-5432」

(8) 山田さんが確認ボタンを押す。

(9) システムが予約を確定し、予約確認メールをyamada@example.comへ送信。

**シナリオ2: 入力情報不足の処理**

(1) 佐藤花子さんがシステムにログインし、予約ページにアクセス。

(2) 佐藤さんが宿泊希望日を入力せずに、人数を3人、部屋種別を「大部屋」、食事回数を3回と入力。

(3) システムが「入力情報に不備があります」と表示し、再度の入力を促す。

**シナリオ3: 条件に合う部屋が見つからない場合**

(1) 鈴木一郎さんがシステムにログインし、予約ページにアクセス。

(2) 鈴木さんが宿泊希望日を2024年12月31日、人数を4人、部屋種別を「大部屋」、食事回数を3回と入力。

(3) システムが「条件に合う部屋が見つかりませんでした」と表示する。

**シナリオ4: 確認を拒否した場合**

(1) 田中裕子さんがシステムにログインし、予約ページにアクセス。

(2) 田中さんが宿泊希望日を2024年7月15日、人数を1人、部屋種別を「小部屋」、食事回数を1回と入力。

(3) システムが利用可能な部屋リストと料金を表示。

システム表示例: 「小部屋（￥10,000）」、「小部屋（￥12,000）」

(4) 田中さんが希望する「小部屋（￥10,000）」を選択。

(5) システムが田中さんに予約情報（氏名や連絡先、支払い情報、メールアドレス）の入力画面を表示。

(6) 田中さんが予約情報（氏名: 田中裕子、連絡先: 090-9876-5432、支払い情報: 現地支払い、メールアドレス: tanaka@example.com）を入力。

(7) システムが予約情報を提示し、確認を求める。

システム表示例: 「予約情報：日程：2024年7月15日、人数：1人、部屋種別：小部屋、食事：1回、料金：\10,000、氏名：田中裕子、連絡先：090-9876-5432、メールアドレス：tanaka@example.com、支払い方法：現地支払い」

(8) 田中さんが確認を拒否し、システムは予約をキャンセルし、再入力を促す。

**シナリオ5: 支払い情報が無効だった場合**

(1) 高橋健さんがシステムにログインし、予約ページにアクセス。

(2) 高橋さんが宿泊希望日を2024年9月10日、人数を2人、部屋種別を「中部屋」、食事回数を2回と入力。

(3) システムが利用可能な部屋リストと料金を表示。

システム表示例: 「中部屋（￥18,000）」、「中部屋（￥22,000）」

(4) 高橋さんが希望する「中部屋（￥18,000）」を選択。

(5) システムが高橋さんに予約情報（氏名や連絡先、支払い情報、メールアドレス）の入力を促す。

(6) 高橋さんが予約情報（氏名: 高橋健、連絡先: 070-6543-2109、支払い情報: クレジットカード、カード番号1234-5678-9012-3456、メールアドレス: takahashi@example.com）を入力。

(7) システムが「支払い情報が無効です」と表示し、高橋さんに再入力を促す。

ユースケース: ホテルにチェックインする

• アクタ: ユーザ・受付係

• 目的: ユーザがホテルにチェックインする

• 事前条件:

・予約が完了している。

・ユーザがホテルの受付に訪れる

• 事後条件:

・ユーザがルームキーを受け取る。

• 基本系列:

1.ユーザは受付係にチェックインの旨を伝える。

2.受付は、ユーザに予約情報を言うように促す。

3.ユーザは受付に、予約情報を伝える。

4.受付は、システムに、該当する予約があるかを検索する。

5.システムは、受付に検索結果一覧を表示する。

6.受付は、システム上でチェックインを確定する。

7.受付はユーザにルームキーを渡す。

8.ユーザはルームキーを受け取る。

• 代替系列:

1.（基本系列5）該当する検索結果がない場合、受付はユーザに再度予約情報を聞き出す。

• 備考: （なし）

**シナリオ1: 正常な予約プロセス**

(1) 山田太郎さんが受付を訪れる。

(2) 受付の石井さんは山田さんに予約情報を聴く。

(3) 山田さんは「山田です」という

(4)石井さんは、システム上で名前を検索し、該当の予約があることを確認する。

(5) 石井さんはシステム上でチェックインを確定する。

(6)石井さんはルームキーを山田さんに渡す。

(8) 山田さんがカギを受け取る